

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和 元 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	歴史まちづくり推進担当担当課長 高木 明	
歴史-02	重点事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	歴史まちづくり推進担当
			関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	歴史的遺産と共生するまちづくり

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的風致
意図	歴史的遺産と共生するまちづくりの視点に立った計画に基づき、事業を着実に推進するため。
効果	鎌倉市歴史的風致維持向上計画に基づく事業を実施することにより、歴史的遺産と共生するまちの実現が図られる。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

・計画に登載した構成事業の進捗状況について、平成30年度の進行管理・評価を実施し、歴史的風致維持向上計画協議会を開催して、進行管理・評価について意見を聴取した。 ・「鎌倉国宝館」を歴史的風致形成建造物に指定し標識を製作した。 ・ツイッターによって歴史的風致維持向上計画の取組について情報発信を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		データ区分	01年度(2019年度)当初予算		備 考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
事業の対象者数					事業の対象者数			・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数					事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	1,100	245		当初予算(千円)	380		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	1,100	245		一般財源	380		
	人員配置数	0.5	1.0		人員配置数	0.5		
事業経費運営	人件費(千円)	3,951	7,627		人件費(千円)	3,927		
	総事業費(千円)	5,051	7,872		総事業費(千円)	4,307		
	市民1人当りの経費(円)	29	45		市民1人当りの経費(円)	24		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	☐ 見直し ☐ 見直し	事業へ統合
	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	歴史的風致維持向上計画の進行管理を行うとともに、10年間の計画期間の中で計画に登載した構成事業を着実に推進するため、	

総評 (評価に対する考え方、根拠等)	歴史的風致維持向上計画に登載した構成事業及び歴史的風致形成建造物の指定について着実な推進を図り、「歴史的遺産と共生するまちづくり」を進めていく。構成事業を着実に推進するためには、事業の予算確保及び関係省庁の補助金等の獲得が大きなウエイトを占めることから、補助メニューの適用について、国土交通省等へ相談を行っていく。
-----------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題 (前年度未解決の事項を含む)	- 平成30年度の事業について、進行管理・評価を実施する。 - 構成事業の推進に向けたマネジメントが必要なことから、庁内組織である「歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会・検討部会」を開催して庁内調整を図る。 - 所管省庁の補助金等を獲得するため、引き続き国土交通省等へ相談を行っていく。 - 歴史的風致形成建造物の指定については、指定候補だった「旧鎌倉図書館」の改修工事が中断したことにより、候補建造物を変更することも視野に入れて検討していく。		
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	- 各事業課において平成30年度事業の自己評価を実施し、歴史的風致維持向上計画協議会を開催して意見を聴取した。 「歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会・検討部会」を開催して、情報共有、庁内調整を図った。 - 平成30年度は、社寺公衆トイレ改築工事設計に対し、国土交通省の補助金を獲得した。また、若宮大路・小町通り景観形成ガイドライン策定支援事業について、補助金要望書の提出を行った。 - 歴史的風致形成建造物に「鎌倉国宝館」を指定し、標識を製作した。		☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	- 所管省庁の補助金等を獲得するため、引き続き国土交通省等へ相談を行っていく。 - 歴史的風致形成建造物の着実な指定を行うため、指定候補の建造物の検討を進める。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	歴史的風致維持向上計画を策定している自治体								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○				○				

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	日本を代表する古都であり「歴史的遺産と共生するまちづくり」を推進する鎌倉市にとって、歴史的風致を維持向上させるための計画を推進し、着実に取り組んでいく必要がある。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	計画に登載した構成事業の進捗率					単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)		H30(2018)	R01(2019)		
構成事業を着実に実施することで、歴史的風致の維持向上を図るため。	目標値	-	-	50.0	55.0		60.0	65.0		
	実績値	-	-	45.0	52.5		55.0			
	達成率	-	-	90.0%	95.5%		91.7%			

指標の内容	歴史的風致形成建造物の指定					単位	件	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)		H30(2018)	R01(2019)		
歴史的風致形成建造物を指定することで、歴史的風致の維持向上に資するため。	目標値	-	-	1.0	1.0		1.0	1.0		
	実績値	-	-	1.0	0.0		1.0			
	達成率	-	-	100.0%	0.0%		100.0%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	歴史的風致維持向上計画の計画期間は平成28年度から平成37年度までの10年計画であるため、上記指標の設定にあたっては、平成37年度を見据えた設定としている。なお、本計画に登載している既存事業を含めた全事業を対象としている。
-----------------------	---